

災害・オウム対策調査特別委員会 情報連絡

令和5年1月24日

情報連絡事項	頁
1 令和4年度足立区総合防災訓練の実施結果について	2
2 令和4年度足立区中学生消火隊合同訓練の実施結果について	7
3 令和4年度シェイクアウト訓練の実施について	9
4 令和4年度緊急災害対策本部訓練（救出救助用資機材取扱い訓練） の実施報告について	10
5 コミュニティタイムライン策定地区における情報伝達訓練の実施 について	12
6 災害協定の締結について	14



(危機管理部)



災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡



令和5年1月24日

件名	令和4年度足立区総合防災訓練の実施結果について
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課、防災力強化担当課
内容	<p>令和4年度足立区総合防災訓練を実施したため、次のとおり報告する。</p> <p>1 実施日時 <u>令和4年10月30日(日) 午前8時30分～正午</u> ※ 防災普及啓発については、複数日で開催</p> <p>2 訓練実施方針 (1) 新型コロナウイルス感染症を考慮し、不特定多数が集まる防災普及啓発は規模の縮小 (2) 防災関係機関や災害協定締結機関等を交えた実践的な訓練 (3) 庁内各部署間の横断的(横の連携が取れた)な訓練</p> <p>3 訓練参加機関数等 73機関(約120名)</p> <p>4 訓練内容 別紙のとおり</p>
問題点 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内各部署間の連携強化を目指して、令和5年1月20日(金)の図上訓練を中心に定期的な訓練企画を進めて、更なる応急対策業務の習熟を図る。 ・ 訓練参加機関からの意見を集約し、訓練結果の検証を進め、次年度の総合防災訓練企画に活かすとともに、庁外機関との連携強化を図る。

令和4年度足立区総合防災訓練の実施結果について（訓練内容）

項 目	内 容								
防災普及啓発	1 実施日時・場所								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 344 976 394">日時</th> <th data-bbox="976 344 1398 394">場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 394 976 443">令和4年10月23日（日）</td> <td data-bbox="976 394 1398 443">元湊江公園</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 443 976 492">10月26日（水）</td> <td data-bbox="976 443 1398 492">北千住駅東口</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 492 976 544">10月30日（日）</td> <td data-bbox="976 492 1398 544">都立舎人公園</td> </tr> </tbody> </table>	日時	場所	令和4年10月23日（日）	元湊江公園	10月26日（水）	北千住駅東口	10月30日（日）	都立舎人公園
	日時	場所							
	令和4年10月23日（日）	元湊江公園							
	10月26日（水）	北千住駅東口							
	10月30日（日）	都立舎人公園							
	※ 時間は午前9時～正午で実施 ※ 総合防災訓練の一環として、帝京科学大学の学園祭にて普及啓発を行った（10月29日、30日）。								
	2 来場者数 約2,000名								
	3 実施方法 (1) 元湊江公園及び都立舎人公園 スタンプラリーを実施し、訓練を実施した方へ防災グッズを配布 (2) 北千住駅東口 通勤・通学者を対象に啓発グッズを配布								
	4 啓発成果 体験できる防災訓練（地震体験車や初期消火など）の実施や関係機関から提供いただいたチラシ類や防災グッズを配布したことで、その後のアンケート等では、「防災への関心を持つきっかけの場となった」という意見が多かった。								
5 課題と今後の取り組み (1) 課題 今年度の普及啓発は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、参加機関を絞ったが、その後のアンケート等で、次年度は普及啓発に参加したいと要望する機関もあった。 (2) 今後の取り組み 次年度は、多くの機関が参加できる普及啓発を企画する。									
									
<p style="text-align: center;">【都立舎人公園】 初期消火訓練</p>	<p style="text-align: center;">【北千住東口】 地震体験車訓練</p>								

項 目	内 容
救出救助訓練	<p>1 実施場所 都立舎人公園 草地広場</p> <p>2 参加機関 区（都市建設部）、区内4警察署、3消防署・消防団、東京拘置所、陸上自衛隊や区協定締結機関等 計183名が訓練参加</p> <p>3 訓練内容 (1) 実際の災害時を想定した実践的な訓練 (2) ドローンを活用した被害状況の収集訓練</p> <p>4 訓練成果 ドローン映像を放映し、関係機関を集めて被害状況の共有を図り、機関ごとの役割分担を明確にしたことで、今までの訓練とは異なり、共有すべき手順を確認することができたが、運用部分で他機関同士の連携方法について課題が生じた。</p> <p>5 課題と今後の取り組み (1) 課題 1つの機関のみで完結する訓練であったため、他機関の災害対応要領（車両撤去の方法など）について、十分に共有を図れなかった。 (2) 今後の取り組み 区及び関係機関同士が実動訓練の中で相互の対応可能な活動範囲を共有できるように、例えば区と警察署の協力による道路啓開活動など、各機関が実動にて一斉かつ合同で取組める訓練内容を検討し、より区と関係機関が連携できる訓練を企画する。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="496 1518 922 1839">  </div> <div data-bbox="956 1518 1422 1839">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="608 1848 834 1912" style="text-align: center;"> <p>【東京拘置所】 倒壊ビルから救出</p> </div> <div data-bbox="1018 1848 1362 1912" style="text-align: center;"> <p>【区内3消防署・消防団】 倒壊建物からの救出・搬送</p> </div> </div>

項 目	内 容
<p>情報伝達訓練</p>	<p>1 参加関係機関数 29機関および区関係部署</p> <p>2 訓練内容 実災害時に想定される情報収集や要請方法の確認</p> <p>3 訓練成果 災害時に想定される各部と災害協定締結機関にて、情報のやり取りや要請方法等を確認したことで、連携強化に繋がった。また、被害想定に負荷をかけて、停電時や通信障害時の通信手段として、防災無線や災害時優先電話を活用したことで、機器操作の習熟を図れた。</p> <p>4 課題と今後の取り組み (1) 課題 訓練のため、先方担当者を事前に決めて行ったことから、災害時に人が変わると対応できるのか不安が残るなどの意見があった。 (2) 今後の取り組み 情報伝達訓練の定期的（年数回）な実施を検討する。</p>
<p>庁内各部訓練</p>	<p>1 参加区職員数 482名</p> <p>2 訓練内容 (1) 地域防災計画や部別行動計画等に定められた各部の任務に基づく訓練 (2) 防災関係機関と各部が連携した実動訓練 (3) 庁内各部が横断的に連携した訓練【新規訓練】</p> <p>3 訓練成果 今まで部署単独で完結していた訓練から部署間で連携した発展的訓練へと進化させたことにより、部署間で共有すべき情報や応急対策業務等の連携を深められた。また、協定締結機関とも合同で訓練したことにより、災害時の動きの確認ができ、双方で理解を深められた。</p> <p>4 課題と今後の取り組み (1) 課題 横断訓練で部署ごとに災害対応業務の知識・理解度に差異があった。 (2) 今後の取り組み 年度内までに訓練の課題を洗い出し、次年度以降、各部にて課題に対する効果的な訓練を災害対策課の支援のもと定期的（月1回程度）に実施し、職員の災害対策業務の向上を目指す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>【東京都トラック協会足立支部】 福祉避難所への物資搬送</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【区民部と地域のちから推進部】 総合スポーツセンターでの給水</p> </div> </div>

項 目	内 容
<p>その他訓練</p>	<p>1 第一次避難所の開設・運営訓練</p> <p>(1) 場所 千寿双葉小学校、足立入谷小学校、足立小学校</p> <p>(2) 参加機関 区（教育委員会）、避難所運営会議、等</p> <p>(3) 訓練参加者 約300名</p> <p>(4) 訓練内容 ア 避難所の開設・運営訓練 イ 段ボールベットや間仕切りの設置訓練 ウ 要配慮者の移送訓練 (千寿双葉小学校→特別養護老人ホームプレミア扇) (足立入谷小学校→谷在家障がい福祉施設)</p> <p>2 第二次（福祉）避難所の開設・運営訓練</p> <p>(1) 場所 谷在家障がい福祉施設 他10施設</p> <p>(2) 参加機関 区（福祉部）、協定締結機関等</p> <p>(3) 訓練参加者 約100名</p> <p>(4) 訓練内容 ア 要配慮者の受入れ訓練 イ 居室等の設定、段ボールベットの設置訓練</p> <p>3 動物救護所</p> <p>(1) 場所 足立区生物園</p> <p>(2) 参加機関 区（衛生部）、東京都獣医師会足立支部</p> <p>(3) 訓練参加者 約15名</p> <p>(4) 訓練内容 動物救護所の開設、逸走動物受入れ訓練（実際の動物を受入れ）、 受付方法の確認、ケージ設置等</p>

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和5年1月24日

件名	令和4年度足立区中学生消防隊合同訓練の実施結果について															
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課、防災力強化担当課															
内容	<p>令和4年度足立区中学生消防隊合同訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大以降、各学校で日々の訓練が思うように実施できない状況に配慮し、代表校による操法披露のような競技会形式ではなく、D級ポンプの操作訓練をメインに実施した。区内3消防署と西新井消防団が訓練指導にあたった。</p> <p>1 日時 令和4年10月30日（日）午前9時10分から午前11時10分 ※ 令和4年度足立区総合防災訓練に併せて実施。</p> <p>2 場所 舎人公園（足立区舎人公園1-1）</p> <p>3 参加人数 10校81名</p> <p>4 訓練内容 以下①～③の3つの訓練、体験をローテーションで実施した。</p> <table border="1" data-bbox="312 1249 1433 1653"> <thead> <tr> <th></th> <th>訓練</th> <th>体験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>①消火訓練 (足立消防署・西新井消防団)</td> <td>②傷病者搬送訓練 (千住消防署)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③普及啓発体験学習 (西新井消防署)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 西新井消防団第七分団によるポンプ操法披露 D級ポンプ操作訓練 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 担架による傷病者の搬送方法を学ぶ。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> VR防災体験車 起震車体験 まちかど防災体験車 応急救護体験 </td> </tr> </tbody> </table> <p>5 訓練成果 コロナ禍において多くの隊が日々の活動ができず、D級ポンプに触れる機会が減少していたが、指導する消防職員や消防団員の指導を熱心に聞いて訓練に臨んでいた。 総合防災訓練の普及啓発体験学習においては、VR防災体験車や応急救護体験など自主的に様々な体験に興味を持って取り組んでいた。傷病者搬送訓練も含め、総合的に防災の知識を学ぶ機会となった。</p>		訓練	体験		①消火訓練 (足立消防署・西新井消防団)	②傷病者搬送訓練 (千住消防署)		③普及啓発体験学習 (西新井消防署)		内容	<ul style="list-style-type: none"> 西新井消防団第七分団によるポンプ操法披露 D級ポンプ操作訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 担架による傷病者の搬送方法を学ぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> VR防災体験車 起震車体験 まちかど防災体験車 応急救護体験
		訓練	体験													
	①消火訓練 (足立消防署・西新井消防団)	②傷病者搬送訓練 (千住消防署)														
	③普及啓発体験学習 (西新井消防署)															
内容	<ul style="list-style-type: none"> 西新井消防団第七分団によるポンプ操法披露 D級ポンプ操作訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 担架による傷病者の搬送方法を学ぶ。 														
		<ul style="list-style-type: none"> VR防災体験車 起震車体験 まちかど防災体験車 応急救護体験 														

<p>内 容</p>	<p>6 隊員の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポンプを初めて触ったが、消防署や消防団の方に教えてもらい、放水までできてよかった。 ・ ポンプだけでなく、地震のVR防災体験をすることができて、さらに防災のすることについて学べたと思う。 ・ 普段は消防署の方と触れ合う機会が多いが、消防団員など他にも災害のために活動する人たちを見て、防災のことをより学ぼうと思った。 <p>7 課題と今後の取り組み</p> <p>(1) 課題</p> <p>コロナ禍を受け、学校での訓練実施が困難だったことにより、一部の学校では先生や隊員のポンプ操法に関する知識と経験が薄れていることが確認された。</p> <p>(2) 今後の取り組み</p> <p>ポンプ操作訓練を取り入れつつ、VR防災体験など中学生が興味を持ちやすい内容を訓練項目とし、消防署・消防団と連携しながら次年度以降も合同訓練を継続していく。</p> <p>8 訓練実施状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>▼西新井消防団ポンプ操法披露</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼消火訓練</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>▼傷病者搬送訓練</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼普及啓発体験学習（VR防災体験）</p>  </div> </div>
	<p>問題点 今後の方針</p>

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和5年1月24日

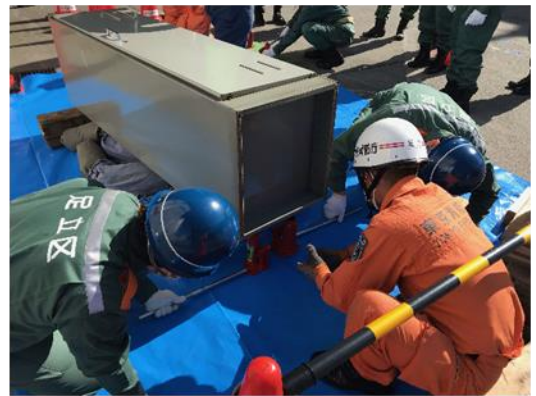
件名	令和4年度シェイクアウト訓練の実施について																										
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課、防災力強化担当課																										
内容	<p>東日本大震災の発生日である3月11日にあわせて、次のとおりシェイクアウト訓練を実施する。</p> <p>1 目的 「自らの安全は自らが守る」自助防災意識の向上と震災風化防止に向けて、家庭や職場、学校等で防災対策について再確認する機会とする。</p> <p>2 日時 令和5年3月10日（金） 午前9時30分から1分間 ※ 3月11日が土曜日のため、前日10日金曜日に実施</p> <p>3 対象 (1) 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学等 (2) 第二次（福祉）避難所、災害時協定締結事業者等 (3) 区役所各所属 ※ 参考 前回実施日時：令和2年3月11日（水）午前9時30分 訓練参加者数：16,995名（284機関） <u>令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため中止</u></p> <p>4 訓練内容</p> <table border="1" data-bbox="416 1167 1441 1451"> <thead> <tr> <th></th> <th>足立区各所属</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開始前</td> <td colspan="2">地域防災無線設置施設に対し、訓練開始の一斉放送</td> </tr> <tr> <td>9時30分</td> <td colspan="2">3つの安全行動「姿勢を低く」「頭を守り」「揺れが収まるまでじっとする」を1分間行う。</td> </tr> <tr> <td>訓練後</td> <td>身の回りの安全や、各施設・所属での初動対応等の防災対策について再確認する。</td> <td>家庭や職場、学校等で防災対策について再確認する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 訓練実施状況の確認 危機管理部職員が、本庁舎内各部の実施状況を確認する。</p> <p>6 今後のスケジュール</p> <table border="1" data-bbox="411 1615 1434 1944"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月下旬</td> <td>各機関への内容説明等</td> </tr> <tr> <td>2月上旬</td> <td>関係機関等へ通知を発送</td> </tr> <tr> <td>2月中旬</td> <td>庁内へ訓練実施文書の配信</td> </tr> <tr> <td>2月下旬</td> <td>ホームページ更新</td> </tr> <tr> <td>3月上旬</td> <td><u>訓練中止文書配信等を踏まえた中止決定の最終期限</u></td> </tr> <tr> <td>3月10日</td> <td>訓練当日</td> </tr> </tbody> </table>		足立区各所属	その他	開始前	地域防災無線設置施設に対し、訓練開始の一斉放送		9時30分	3つの安全行動「姿勢を低く」「頭を守り」「揺れが収まるまでじっとする」を1分間行う。		訓練後	身の回りの安全や、各施設・所属での初動対応等の防災対策について再確認する。	家庭や職場、学校等で防災対策について再確認する。	日程	内容	1月下旬	各機関への内容説明等	2月上旬	関係機関等へ通知を発送	2月中旬	庁内へ訓練実施文書の配信	2月下旬	ホームページ更新	3月上旬	<u>訓練中止文書配信等を踏まえた中止決定の最終期限</u>	3月10日	訓練当日
	足立区各所属	その他																									
開始前	地域防災無線設置施設に対し、訓練開始の一斉放送																										
9時30分	3つの安全行動「姿勢を低く」「頭を守り」「揺れが収まるまでじっとする」を1分間行う。																										
訓練後	身の回りの安全や、各施設・所属での初動対応等の防災対策について再確認する。	家庭や職場、学校等で防災対策について再確認する。																									
日程	内容																										
1月下旬	各機関への内容説明等																										
2月上旬	関係機関等へ通知を発送																										
2月中旬	庁内へ訓練実施文書の配信																										
2月下旬	ホームページ更新																										
3月上旬	<u>訓練中止文書配信等を踏まえた中止決定の最終期限</u>																										
3月10日	訓練当日																										
問題点 今後の方針	新型コロナウイルスの感染状況を注視し、訓練規模や内容を検討する。防災アプリの通知により訓練の周知を図り、防災意識の向上に努める。																										

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和5年1月24日

件名	令和4年度緊急災害対策本部訓練（救出救助用資機材取扱い訓練）の実施報告について
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課、防災力強化担当課
内容	<p>令和4年度の緊急災害対策本部訓練について、9月に実施した参集訓練に続き、救出救助用資機材の取扱い訓練を以下の通り実施したので報告する。 なお、本訓練は危機管理部を除く全緊急災害対策本部員（※）を対象に実施した。</p> <p>1 令和4年度緊急災害対策本部訓練（救出救助用資機材取扱い訓練）</p> <p>(1) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定参集場所の配備資機材の種類、用途の確認 ・ 緊急災害対策本部員の役割の一つである「救出救助」の対応力向上 <p>(2) 実施日時</p> <p>令和4年11月21日（月）・22日（火） 午前9時30分から午後4時45分まで 1回1時間の訓練を2日間で計8回実施（1回あたり約40名が参加）</p> <p>(3) 訓練場所 足立消防署</p> <p>(4) 訓練参加人数 緊急災害対策本部員 計332名 ※ 訓練欠席者については、訓練を撮影した動画の視聴により代替する</p> <p>(5) 訓練内容 足立消防署職員と連携し、指定参集場所に配備されている救出救助用資機材の取扱い訓練を実施</p> <p>ア チェーンソーの取扱い訓練 イ 転倒家具からの救出訓練（簡易ジャッキの取扱い訓練） ウ 初期消火訓練</p> <p>(6) 訓練後のアンケート（主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員全員が「訓練目的に対する効果があった」 ・ 約2割の職員は「実災害での資機材の取扱いに不安が残る」 ・ 「年に1回は実施したほうが良い」との意見あり <p>(7) 課題と今後の取組み</p> <p>ア 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一度の訓練では資機材の操作方法の習熟には至らず、今後の取扱い能力の向上が図れない ・ 今回は取扱いできなかった他の資機材（バール、単管パイプ等）についても操作方法の訓練が必要 <p>イ 今後の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救出救助用資機材の取扱い訓練を緊急災害対策本部員の定例の訓練として位置づけ、来年度以降も継続し、能力の向上を図る ・ より多くの資機材を取扱いできるような訓練内容を検討する

(8) 訓練の様子



※ 緊急災害対策本部員とは
勤務時間外に震度5弱以上の地震が発生した場合、指定の区民事務所等に参集し、災害対策本部が設置されるまでの間情報収集等の初動対応を行う職員

問題点
今後の方針

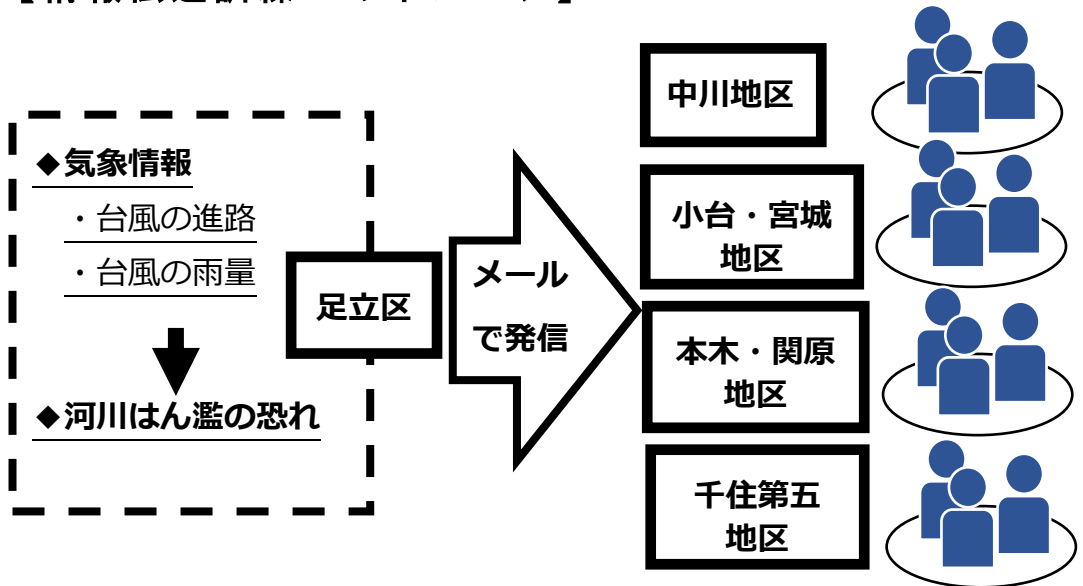
新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、来年度以降の実施方法を検討する。

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和5年1月24日

件名	コミュニティタイムライン策定地区における情報伝達訓練の実施について																			
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課、調整担当課																			
内容	<p>今年の台風シーズンに備え、これまでにコミュニティタイムラインを策定支援した以下の地区に対し、情報伝達訓練を実施する。</p> <p>なお、8月30日に中川地区、小台・宮城地区、本木・関原地区の3地区で情報伝達訓練を行ったが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、区から訓練参加者にメールで情報発信を行い、受信の可否を確認する訓練のみ実施した。</p> <p>1 目的</p> <p>台風等により荒川など区内の河川はん濫の恐れがあると判断した際に、策定したコミュニティタイムラインを立ち上げる目安になるよう、策定地区の町会長等にメールで情報発信するとともに、Web会議を通じて情報共有すること。</p> <p>2 実施日</p> <p>令和5年2月18日（土）</p> <p>3 対象地区及び訓練場所</p> <table border="1" data-bbox="424 1200 1139 1460"> <thead> <tr> <th>対象地区</th> <th>訓練場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中川地区</td> <td>中川地域センター</td> </tr> <tr> <td>小台・宮城地区</td> <td>江南区民事務所</td> </tr> <tr> <td>本木・関原地区</td> <td>本木関原住区センター</td> </tr> <tr> <td>千住第五地区</td> <td>千住柳町住区センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 訓練スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="424 1563 1375 1774"> <thead> <tr> <th></th> <th>時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訓練1</td> <td>午前10時</td> <td>メールによる情報伝達</td> </tr> <tr> <td>訓練2</td> <td>午後2時 ～3時30分</td> <td>Web会議を利用した情報伝達 (情報共有会議)</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 訓練内容</p> <p>(1) 情報伝達訓練1</p> <p>区から参加者にメールで情報発信する（台風最接近の3日前頃を想定）。次の内容を伝える予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の台風の見立てや注意点 ・ コミュニティタイムラインを立ち上げるタイミングなど 	対象地区	訓練場所	中川地区	中川地域センター	小台・宮城地区	江南区民事務所	本木・関原地区	本木関原住区センター	千住第五地区	千住柳町住区センター		時間	内容	訓練1	午前10時	メールによる情報伝達	訓練2	午後2時 ～3時30分	Web会議を利用した情報伝達 (情報共有会議)
対象地区	訓練場所																			
中川地区	中川地域センター																			
小台・宮城地区	江南区民事務所																			
本木・関原地区	本木関原住区センター																			
千住第五地区	千住柳町住区センター																			
	時間	内容																		
訓練1	午前10時	メールによる情報伝達																		
訓練2	午後2時 ～3時30分	Web会議を利用した情報伝達 (情報共有会議)																		

【情報伝達訓練 1 のイメージ】



(2) 情報伝達訓練 2

各町会長等に区民事務所などに参集していただき、Web 会議を通じて区と情報共有する会議を開催する。

会議は次の内容を予定している。

- ・ 気象の今後の見立てや注意点
- ・ 区の対応方針など

【情報伝達訓練 2 のイメージ】



6 想定される課題と今後の取り組み

(1) 想定される課題

- ア 予定していた参集メンバーが集まらない。
- イ Web の通信環境

(2) 今後の取り組み

上記課題の精査を行い、訓練内容のブラッシュアップを図る。

問題点
今後の方針

今年度の訓練で抽出した課題を精査したうえで、各地区で策定したコミュニティタイムラインをスムーズに立ち上げるために必要な情報伝達方法を検討し、今後の訓練内容に盛り込んでいく。

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和5年1月24日

件名	災害協定の締結について														
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課														
内容	<p>災害協定ならびに確認書を締結したので、次のとおり報告する。</p> <p>1 災害時における介護・障がい福祉サービス等利用者の安否確認と避難誘導及び福祉避難所における支援の提供に関する協定</p> <p>(1) 締結先</p> <table border="1" data-bbox="400 656 1430 1003"> <thead> <tr> <th></th> <th>名称</th> <th>所在地</th> <th>協定締結日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>株式会社とねりっこ ねむのきケアセンター とねり</td> <td>足立区舎人三丁目 9番9号</td> <td>令和4年 12月12日</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>株式会社おとも</td> <td>足立区竹の塚一丁目 40番15号 庄栄ビル5階</td> <td>令和4年 12月14日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 協定概要</p> <p>ア 災害時において、介護サービス及び障がい福祉サービス等利用契約を締結している区内の利用者の安否確認と避難が必要と判断される利用者の避難所その他安全な場所への誘導を行う。</p> <p>イ 足立区地域防災計画で指定された第二次避難所での高齢者又は障がい者等に対する日常生活上の支援を行う。</p>				名称	所在地	協定締結日	1	株式会社とねりっこ ねむのきケアセンター とねり	足立区舎人三丁目 9番9号	令和4年 12月12日	2	株式会社おとも	足立区竹の塚一丁目 40番15号 庄栄ビル5階	令和4年 12月14日
	名称	所在地	協定締結日												
1	株式会社とねりっこ ねむのきケアセンター とねり	足立区舎人三丁目 9番9号	令和4年 12月12日												
2	株式会社おとも	足立区竹の塚一丁目 40番15号 庄栄ビル5階	令和4年 12月14日												
問題点 今後の方針	<p>本協定に基づく協力体制が円滑に行われるよう、必要に応じて防災訓練等への参加を促していく。</p>														